

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名 No. 700104 児童館等活動運営事業		主管課名 子育て支援											
	この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		課長名 増岡 総一郎									
		施策	地域で青少年を支えるまち											
		基本事業	青少年の健全育成											
	(1)事業の概要													
	児童館（13館）及び集会所（12館）を地域児童の遊び場として開放し、児童厚生員（非常勤特別職）の企画運営による児童館等行事を通じ、地域児童の育成・指導を行う。平成26年度から児童館施設整備事業を統合する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)										
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>児童館等年間開館総日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>児童館等行事の年間総実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	児童館等年間開館総日数	日	児童館等行事の年間総実施回数	回	その指標		
	名 称	単 位												
	児童館等年間開館総日数	日												
	児童館等行事の年間総実施回数	回												
その指標														
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		児童館は午前10時から午後5時までの間（毎週日曜日と第1、第3火曜日、年末年始及び国民の祝日は休館日）、集会所は午後1時から5時までの間（毎週土・日曜日、年末年始及び国民の祝日は休館日）、児童の活動の場として開館している。各児童館では、誕生日会、クリスマス会、6年生を送る会など、児童厚生員の企画運営による行事を実施している。												
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	平成26年度から児童館施設整備事業を統合する。											
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)											
市内の乳幼児・就園時・小学生・中学生			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>市内14歳までの人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	市内14歳までの人口	人	その指標					
名 称	単 位													
市内14歳までの人口	人													
その指標														
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)											
地域の子を児童館等で遊ばせる 児童が怪我をすることなく遊ぶことができる			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>児童館等年間利用児童数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>けがをしなかった児童数 / 年間利用児童数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	児童館等年間利用児童数	人	けがをしなかった児童数 / 年間利用児童数	%	その指標			
名 称	単 位													
児童館等年間利用児童数	人													
けがをしなかった児童数 / 年間利用児童数	%													
その指標														
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)											
心身ともに健全に成長してもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>青少年補導員の定期巡回箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>子ども会加入率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>成人式への出席率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	青少年補導員の定期巡回箇所数	箇所	子ども会加入率	%	成人式への出席率	%	その指標	
名 称	単 位													
青少年補導員の定期巡回箇所数	箇所													
子ども会加入率	%													
成人式への出席率	%													
その指標														
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標														
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値						
(5)の活動指標		日	6,275	6,244	6,300	6,300	6,300	6,300						
		回	586	535	600	600	600	600						
(6)の対象指標		人	10,998	10,731	11,200	11,300	11,400	11,500						
(7)の成果指標		人	134,895	133,699	137,000	138,000	139,000	140,000						
		%	100	100	100	100	100	100						
(8)の結果の成果指標		箇所	89	146	146	146	146	146						
		%	82	84	84	84	84	84						
		%	80.3	78.7	83	83	83	83						
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	03	項	02	目	03			
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値						
事業費(決算又は予算額)		単位	51,553	52,487	62,350	62,827	57,827	57,827						
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0						
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0						
	その他	千円	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	千円	51,553	52,487	62,350	62,827	57,827	57,827						
人件費B		千円	2,474	4,149	3,908	4,241	3,908	3,908						
正職員従事時間×人数		時間×人	140×2	373×3	527×2	572×2	527×2	527×2						
正職員以外の人件費		千円	1,419											
その他費用C		千円	152	277	277	277	277	277						
トータルコストA+B+C		千円	54,179	56,913	66,535	67,345	62,012	62,012						
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	5	5	6	6	5	5						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	700104 児童館等活動運営事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和43年度 から			特になし
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
児童の遊び場として児童館を開設した。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している	平成17年度より児童厚生員補助員の雇用を開始した。	

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する		
					根拠法令	児童福祉施設最低基準第38条	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	→	拡大 縮小	→	この事務を行う根拠又は理由	児童館等の活動に支援するため
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	→	追加 拡充 絞込み	→	理由	
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	→	理由 又は 内容		
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	→	理由 又は 内容	目標は達成されているため。	
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	→	庁内事業 庁外事業	類似事業名 放課後児童クラブ 類似事業との再編の可能性	ある ない
効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	→	内容			
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	→	内容			
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	→	現状で適正 検討が必要	→	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	地域健全育成のため現在の活動運営を維持していく。 平成26年度から児童館施設整備事業を統合する。					